

		社会福祉法人 吉祥会 寒川ホーム(特養)	社会福祉法人 伸こう福祉会	SOMPO株式会社	株式会社アカリエ ご自宅訪問介護サービス(訪問)他
活用状況	登録	済(R3/3)	済(R3/5~8)	済(R3/9)	未
	情報提供	済(R3/7)	済(R3/6~8)	済(R3/10)	未
	フィードバック	未	未	未	未
加算	科学的介護推進体制加算	Ⅱ	○	○	
	個別機能訓練加算		一部の事業所	ⅡをR4/2より予定	
	ADL維持等加算			R3/12より予定	
	褥瘡マネジメント加算		一部の事業所		
	栄養マネジメント強化加算	○	一部の事業所		
使用ソフト		内田洋行(2003/3~) 記録・情報共有・請求にて使用	カナミック(2019/11~) 記録・情報共有・請求にて使用(記録はLIFEがきっかけ)	未導入	カイポケ(2014/7~) 記録・情報共有・請求にて使用
使用者	管理者・管理職	○	○		○
	専門職	○	○		○
	事務職	○	○		○
	看護職		○		
	介護職				○
	その他				
職員のITリテラシー強化のための取組み		・委員会の立ち上げ(毎月第2水曜日) ・研修会および勉強会 ・情報共有・記録・リモート面会を目的としてタブレットの導入	弱い部分ではあるが特別何か取組はしていない。 制度変更時とうはソフト会社と連携して研修を行っている。	・本社IT推進部門より一般的なセキュリティリスク、社内(グループ内)セキュリティルールの啓蒙、IT興味向上をテーマに記事を作成して配信(ニュース記事とサイネージへの動画配信)している。 ・本社教育部門と連携し現場へのIT研修を検討。 ・現場からよくある問い合わせに対するマニュアル、動画等の作成、配信を実施。	・ITに関するセキュリティ定期研修(確認テスト) ・入社時研修 ・日々のIT活用【社内コミュニケーションツール(slack)、情報共有ツール活用(Trello)、ウェブ面接ツール(googlemeet/zoom/HRmonster(自社製品))】 ・職員へのアクセシビリティ研修の実施。 ・高齢者のためのITリテラシー向上に向けた研修
科学的介護推進に向けた取組みや体制整備等		全介護スタッフへの研修会・勉強会(LIFEの仕組みについて)	ソフトの活用 ⇒ ソフト活用人(入力者)の幅を増やした。	・先行事業所と後発事業所に分け本社、地域本部一体で入力サポートを実施。 ・今後の継続的入力に向けて、入力システム開発を検討中。	・創業時より、自立支援型ケアマネジメントに取り組んでいます。訪問介護では、科学的介護の加算等はまだまだですが、体重管理や水分量、食事の量等に基づき、居宅介護支援事業所を中心に、科学的介護を推進しています。 ・ルネッサンス、という弊社独自の「介護保険卒業に向けたコンセプト」を創り、一人でも多くの方が、介護保険から卒業できる自立した生活を目指して、日々のケアマネジメントに取り組んでいます。
LIFEへの情報提供について、問題や課題		・相談員だけの情報提供に負担が大きかったため、担当事務員を任命した。また、介護スタッフ(リーダーおよび主任クラス)の情報提供の協力も必要であった。 ・LIFE関連加算について、重複して(科学的介護推進・栄養マネジメント)の情報提供があるため面倒に感じた。 ・全項目(任意を除く)を記載しないと保存できないため、記載中は席を外せない。	全体的に、まだ始まったばかりで様子見である。(今後)項目が増えたり減ったりする事はなるべく避けてもらいたい。 項目が増えると現在のソフトではアセスメントシートのテンプレートを作り直さないといけない。	・通所のようにアセスメントを実施しない事業体についても、服薬情報や既往歴といった詳細情報(特に時期)まで入力するのはハードルが高い。	
現時点でのLIFEへの期待や不満、感想等		フィードバック内容が期待しているものかどうか？ フィードバック内容を活かすことができるか？(実施可能であるか) 情報提供だけで、ご利用者に合わせたケアを実施することができるか？ 相談員や介護支援専門員だけの情報提供についての負荷が大きい。	フィードバックがもう少し早く来ると思っていた。 PDCAをまわす為にももう少し早く情報提供があると良い。	各事業所でインストールしたアプリからしか提出ができない点が非常に不便。複数事業所を抱えている法人・団体にとっては、請求のように一括伝送のような仕組み(フィードバックも同様)が必要と考える。	今後訪問介護や居宅介護支援事業所にどのように反映されていくのか、注視しております。